

2018年1月21日 実施

平成29年度（第58回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 試験問題

…………… 注 意 事 項 ……………

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

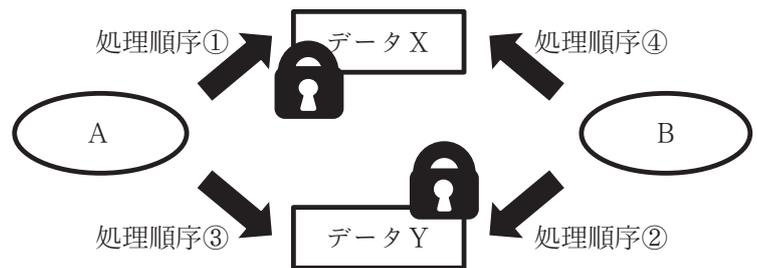
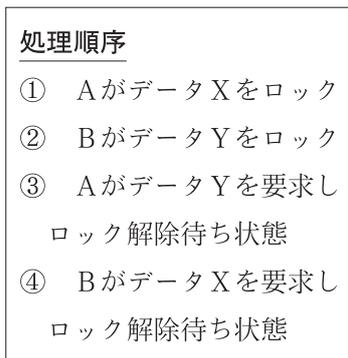
1. RASISの示す指標の一つで、システムの維持や管理のしやすさ、障害復旧のしやすさを表したものの。MTTRなどの値で表すことが多い。

ア. 安全性

イ. 完全性

ウ. 保守性

2. データベースに対して、次のような処理順序でデータ更新に関わる処理を行った結果、トランザクションAとBが互いにロック解除待ち状態となり、処理が先に進まなくなった状態。



ア. 共有ロック

イ. デッドロック

ウ. 占有ロック

3. 内部のネットワークのセキュリティを確保するために、外部のネットワークとの間に設けられた領域。領域内にWebサーバなどを設置することで、設置したサーバに悪意のあるソフトウェアが組み込まれた際にも、内部のネットワークの被害を最小限に抑えることができる。

ア. DMZ

イ. NAT

ウ. NAS

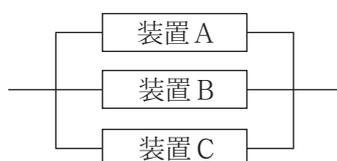
4. 100Mbpsの通信回線を使用して240MBのデータを転送した時間が30秒であった。この通信回線の伝送効率を求めなさい。なお、その他の外部要因は考えないものとする。

ア. 59%

イ. 64%

ウ. 69%

5. 稼働率0.8の装置Aと装置B、装置Cが、次の図のように配置されているシステム全体の稼働率を小数第3位まで求めなさい。なお、1台以上の装置が稼働していれば正常稼働とする。



【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある会社の問い合わせセンターにあった質問を、項目別に集計したものである。ABC分析によって、早急に対策を講じるべきA群の項目数として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、A群は構成比率の累計が70%まで、B群は70%を超え90%まで、C群はそれ以外とする。

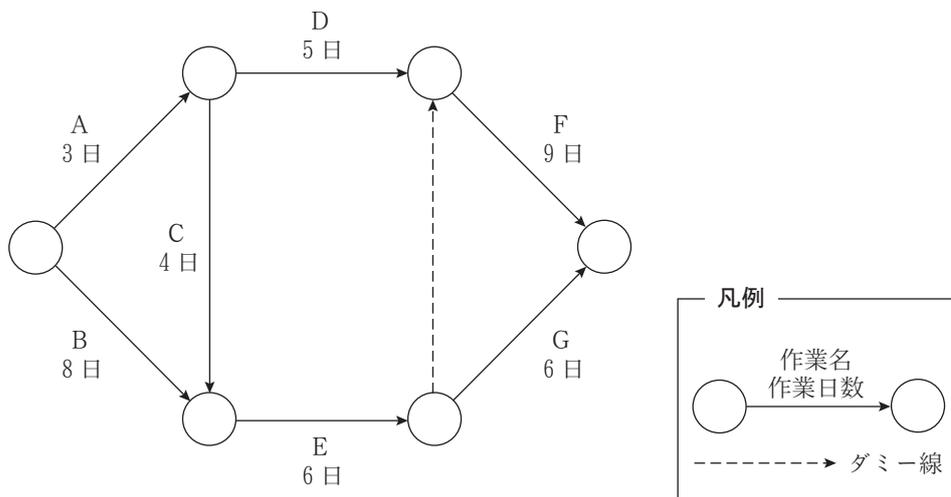
項目	件数
操作方法	340
初期設定	210
商品への要望	150
広告内容	110
ネットへの接続	90
故障・返品	50
PCへの接続	30
CSR関連	20
合計	1,000

ア. 2

イ. 3

ウ. 4

問2. 次の図は、ある事業におけるアローダイアグラムである。クリティカルパスとして適切なものを選び、記号で答えなさい。



ア. A → D → F

イ. B → E → F

ウ. B → E → G

エ. A → C → E → F

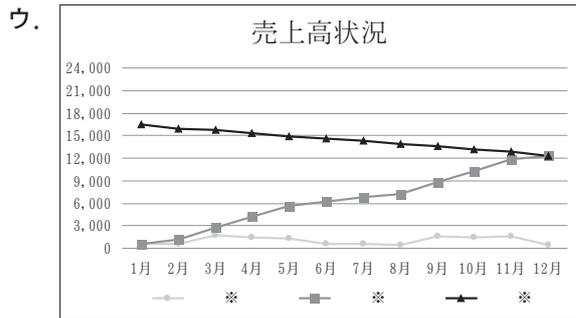
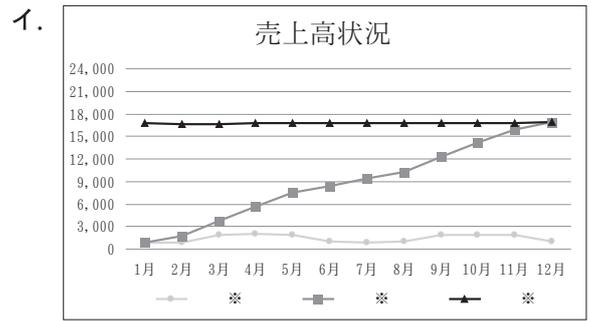
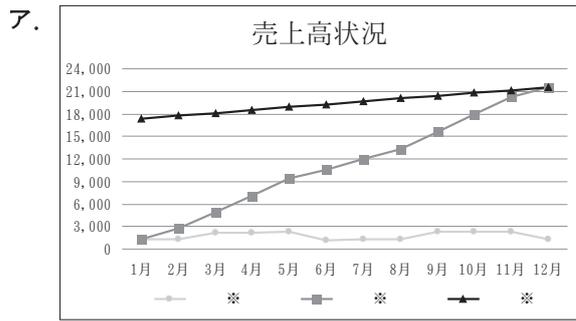
問3. CRMに必要なデータの例として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. 製品の市場成長率, 市場占有率

イ. 原材料の在庫数, 発注頻度, 発注数

ウ. 顧客の名前, 性別, 年齢, 購入回数, 購入金額

問4. 次のZグラフで、毎月の移動合計が増加傾向を示しているものを選び、記号で答えなさい。



(注) ※印は、表記を省略している。

問5. ある自動車メーカーでは、事業戦略の見直しのため、SWOT分析によって、四つの要因について分析を行った。(a)にあてはまる適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。

	内的要因	外的要因
好影響	(a)	※
悪影響	※	※

(注) ※印は、表記を省略している。

- ア. 自社の財務体質が強い。
- イ. 国内外の企業から、魅力的な自動車が発表されている。
- ウ. 自社の生産部門と販売部門の連携に課題がある。
- エ. 効率的な生産ラインを自社で保持している。

【5】 ある専門学校では、法律関係の通信教育講座を行い、受講生の課題提出状況を次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の受講生の場合、受講生登録の手続きを行い、受講生表にデータを入力する。
- ② 受講生から希望の申し込みを受け付ける。受講申し込み一件につき一つの受講番号を通知し、受講表にデータを入力する。なお、通知した日を受講開始日とする。
- ③ 受講生から課題の提出を受け付ける。課題内容を確認し認定された場合、課題表にデータを入力する。ただし、課題は1日に一つしか提出できず、認定されなければ次の課題は提出できない。なお、講座ごとに課題数が定められている。

講座表

講座コード	講座名	課題数
H001	雇用保険法	10
H002	厚生年金保険法	10
H003	国民健康保険法	10
H004	健康保険法	10
K001	企業法務初級	16
K002	企業法務中級	16
R001	労働基準法	10
R002	労働安全衛生法	10
S001	租税法初級	6
S002	租税法中級	6

受講生表

学籍番号	受講生名	性別
}	}	}
190022	安井 大輝	男
190023	庄司 啓子	女
}	}	}
190063	久下 晴菜	女
190064	宮腰 雄大	男
190065	柿沼 遙斗	男
}	}	}
190119	松倉 和花	女
190120	松田 裕	男
}	}	}

受講表

受講番号	学籍番号	講座コード	受講開始日
}	}	}	}
28132	190029	H002	2017/04/10
28133	190045	H003	2017/04/11
}	}	}	}
28279	190032	K002	2017/11/14
28280	190061	H001	2017/11/14
28281	190017	S001	2017/11/15
}	}	}	}
28417	190116	R001	2018/01/13
28418	190102	K001	2018/01/13
}	}	}	}
28430	190119	K001	2018/01/19
28431	190120	S002	2018/01/20
}	}	}	}

課題表

課題認定日	受講番号
}	}
2017/04/23	28132
2017/04/23	28143
2017/04/23	28144
}	}
2017/05/10	28132
2017/05/15	28143
}	}
2018/01/19	28279
2018/01/19	28280
}	}
2018/01/20	28418
2018/01/20	28419
}	}

問1. このリレーショナル型データベースにおいて、主キーが複合キーになっている表を選び、記号で答えなさい。

ア. 講座表

イ. 受講生表

ウ. 受講表

エ. 課題表

問2. 2017年1月1日から2017年6月30日に、労働基準法の受講を開始した受講生の学籍番号と、受講生名を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT  A.学籍番号, 受講生名
FROM    受講生表 A, 受講表 B
WHERE   A.学籍番号 = B.学籍番号
        AND 受講開始日  '2017/01/01' AND '2017/06/30'
        AND 講座コード = 'R001'
```

学籍番号	受講生名
190032	小沼 陽斗
190062	久野 航平
}	}

ア. LIKE

イ. >=

ウ. BETWEEN

問3. 2017年12月1日以降に受講を開始した受講生の学籍番号と受講生名を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT  学籍番号, 受講生名
FROM    受講生表 A
WHERE    (SELECT * FROM 受講表
                        WHERE 学籍番号 = A.学籍番号
                        AND 受講開始日 >= '2017/12/01')
```

学籍番号	受講生名
190066	橋田 柚花
190067	橋元 勇
}	}

ア. NOT EXISTS

イ. EXISTS

ウ. IN

問4. 2017年6月30日以前に受講を開始したが、各講座における課題数の半分に、認定数が達していない受講番号と学籍番号、講座名、課題数、認定数を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

受講番号	学籍番号	講座名	課題数	認定数
28132	190029	厚生年金保険法	10	4
28162	190036	企業法務中級	16	5
}	}	}	}	}

```
SELECT  B.受講番号, 学籍番号, 講座名, 課題数, COUNT(*) AS 認定数
FROM    講座表 A, 受講表 B, 課題表 C
WHERE   A.講座コード = B.講座コード
        AND B.受講番号 = C.受講番号
        AND 受講開始日 <= '2017/06/30'
GROUP BY B.受講番号, 学籍番号, 講座名, 課題数
HAVING 
```

ア. 課題数 / 2 > COUNT(*)

イ. COUNT(*) / 課題数 > 0.5

ウ. 課題数 > COUNT(*) / 2

問5. 学籍番号 190120 の受講生から、受講番号 28431 の講座コードが S002 ではなく、S001 であるとの誤りが指摘され、入力ミスが確認された。そのため、受講表の該当レコードを更新する。次のSQL文の空欄(a), (b)をうめなさい。

```
 (a)  受講表  (b)  講座コード = 'S001' WHERE 受講番号 = 28431
```

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある高校の通学時間帯調査表である。F 3は、B 4～B 403の最頻値をもとに、時間帯表を参照して「時間帯」を表示する。F 3に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、最頻値に同数はないものとする。

=VLOOKUP() (B4:B403), E7:F13, 2, FALSE)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	通学時間帯調査表				集計表	
3	生徒番号	回答番号	時間帯		最も多い時間帯	8:15～8:29
4	170001	6	8:15～8:29			
5	170002	5	8:00～8:14			
6	170003	7	8:30以降			
7	170004	6	8:15～8:29			
8	170005	4	7:45～7:59			
9	170006	5	8:00～8:14			
10	170007	2	7:15～7:29			
11	170008	1	7:00～7:14			
12	170009	6	8:15～8:29			
13	170010	6	8:15～8:29			
?	?	?	?			
402	170399	3	7:30～7:44			
403	170400	6	8:15～8:29			

時間帯表	
回答番号	時間帯
1	7:00～7:14
2	7:15～7:29
3	7:30～7:44
4	7:45～7:59
5	8:00～8:14
6	8:15～8:29
7	8:30以降

問2. 次の表は、ある就職セミナー来場者一覧表である。C 17は「目標達成回数」を表示するために、次の式が設定されている。この式について適切なことを述べているものを選び、記号で答えなさい。

=DCOUNT(A3:C10, 1, B13:C15)

	A	B	C
1			
2	就職セミナー来場者一覧表		
3	実施回	来場者数	個別相談回数
4	1	852	141
5	2	784	88
6	3	1,002	231
7	4	650	99
8	5	741	95
9	6	812	185
10	7	957	75
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			

目標値	
来場者数	個別相談回数
>=750	
	>=100

目標達成回数	※
--------	---

(注) ※印は、値の表記を省略している。

- ア. 「来場者数」が750人以上、または「個別相談回数」が100回以上の件数が表示される。
 イ. 「来場者数」が750人以上、かつ「個別相談回数」が100回以上の件数が表示される。
 ウ. 「来場者数」が750人以上でなく、または「個別相談回数」が100回以上でない件数が表示される。

問3. 次の表は、ある国の地方別下半期降水量の表である。表計算ソフトウェアのフィルタ機能を利用して、「地方」が B 地方 のデータを抽出すると、実行結果のように、F 3にB地方の平均降水量が表示される。F 3に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

= (1, C4:C27)

(注) 第1引数は集計方法を指定し、1 は平均である。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	地方別下半期降水量					
3	月	地方	降水量 (mm)		平均降水量	164.7
4	7	A 地方	118.5			
5	7	B 地方	81.5			
6	7	C 地方	66.0			
7	7	D 地方	179.5			
?	?	?	?			
25	12	B 地方	84.0			
26	12	C 地方	35.0			
27	12	D 地方	141.0			

実行結果 ↓

	A	B	C	D	E	F
1						
2	地方別下半期降水量					
3	月	地方	降水量 (mm)		平均降水量	183.7
5	7	B 地方	81.5			
9	8	B 地方	414.0			
13	9	B 地方	287.0			
17	10	B 地方	96.5			
21	11	B 地方	139.0			
25	12	B 地方	84.0			

ア. SUBSTITUTE

イ. SUBTOTAL

ウ. AVERAGEIF

問4. 次の表は、あるアンケートを行うために、乱数を利用し「抽出番号」を自動的に生成し、アンケート対象者を抽出するものである。G 4 に設定する次の式の空欄(a)に入る関数名と、空欄(b)に入るセル番地を答えなさい。ただし、「抽出番号」は「最小番号」以上「最大番号」以下で生成し、この式をG 8 までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								

名簿		アンケート対象者抽出表				
番号	名前	最小番号	最大番号	人数	抽出番号	名前
1	石沢 ○○	1	20	20	3	篠原 ○○
2	西口 ○○	21	40	20	32	落合 ○○
3	篠原 ○○	41	60	20	50	井上 ○○
4	小平 ○○	61	80	20	70	永島 ○○
5	大江 ○○	81	100	20	100	浅井 ○○

=INT((a) ()*F4) + (b)

問5. 次の表は、ある企業が製造している製品の生産に関するデータ表と作業時間に関するデータ表である。次の条件から、「貢献利益 (円)」の合計が最大となる各製品の「生産数 (個)」を求めたい。表計算ソフトウェアのデータ分析機能に設定する空欄(a), (b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				

生産に関するデータ表			
	製品A	製品B	
販売額 (円)	3,000	4,000	
変動費 (円)	1,500	1,800	
貢献利益 (円)	1,500	2,200	
需要見込数 (個)	1,630	2,140	

作業時間に関するデータ表			
	製品A	製品B	作業可能時間
組立部作業時間	2	2	7,000
加工部作業時間	1	2	6,000

計算結果表			
	製品A	製品B	合計
生産数 (個)			0
売上高 (円)	0	0	0
変動費 (円)	0	0	0
貢献利益 (円)	0	0	0

実行結果 ↓

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				

計算結果表			
	製品A	製品B	合計
生産数 (個)	1,360	2,140	3,500
売上高 (円)	4,080,000	8,560,000	12,640,000
変動費 (円)	2,040,000	3,852,000	5,892,000
貢献利益 (円)	2,040,000	4,708,000	6,748,000

条件

- D16には次の式を入力し、D19までコピーする。
=SUM(B16:C16)
- B17には次の式を入力し、C19までコピーする。
=B4*B\$16
- 「製品A」、「製品B」の生産数は、「需要見込数 (個)」を超えない。
- 「組立部」、「加工部」の作業時間は、それぞれの「作業可能時間」を超えない。
- 1個当たりの作業時間は、「製品A」は「組立部」で2時間、「加工部」で1時間、「製品B」は「組立部」で2時間、「加工部」で2時間である。
- 各製品は、0個以上生産する。

- ア. (a) \$B\$16:\$C\$16
 (b) \$D\$11 >= \$B\$12*\$B\$16+\$C\$12*\$C\$16
- イ. (a) \$B\$17:\$C\$17
 (b) \$D\$12 <= \$B\$12*\$B\$16+\$C\$12*\$C\$16
- ウ. (a) \$B\$16:\$C\$16
 (b) \$D\$12 >= \$B\$12*\$B\$16+\$C\$12*\$C\$16

パラメータ設定

目的セル: \$D\$19 [実行]

目標値: 最大値 最小値 値 [閉じる]

変化させるセル
 [自動]

制約条件

\$B\$16:\$C\$16 <= \$B\$7:\$C\$7
 \$B\$16:\$C\$16 = 整数
 \$B\$16:\$C\$16 >= 0
 \$D\$11 >= \$B\$11*\$B\$16+\$C\$11*\$C\$16
 [削除]

[追加] [変更]

【7】 次の表は、傘の受注製作を行うある店舗の計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「計算書」

	A	B	C	D	E	F	G
1	計算書						
2							
3						受注日	2018/1/18
4							
5	1. 注文内容						
6				入力欄		確認欄	
7	用途コード	HIGS		用途	日傘		
8							
9	基本コード	ORICF		骨組	折畳		
10				素材	カーボン		
11							
12	手元コード	P03		形状	プラ蛙		
13				対応	OK		
14							
15	2. 価格および日数						
16		税抜価格	14,800 円				
17		製作日数	7 日				
18							
19	3. 納期						
20	木曜	金曜	土曜	日曜	月曜	火曜	水曜
21	2018/1/18	2018/1/19	2018/1/20	2018/1/21	2018/1/22	2018/1/23	2018/1/24
22	受注日		休業日	休業日			
23	2018/1/25	2018/1/26	2018/1/27	2018/1/28	2018/1/29	2018/1/30	2018/1/31
24			休業日	休業日	折畳完成		

シート名「用途表」

	A	B	C	D
1				
2	用途表			
3	用途コード	用途	価格	日数
4	AMGS	雨傘	2,000	0.5
5	HIGS	日傘	1,500	0.5
6	KENY	雨晴兼用傘	3,000	1.0

シート名「手元表」

	A	B	C	D	E
1					
2	手元表				
3	手元コード	形状	対応	価格	日数
4	B01	竹 J 型	NAG, ORI	1,000	0.0
5	B02	竹 I 型	NAG, ORI	1,000	0.0
6	W01	木 J 型	NAG, ORI	1,000	0.0
7	W02	木 I 型	NAG, ORI	1,000	0.0
8	W03	木あひる 1	NAG	1,500	2.5
9	W04	木あひる 2	ORI	1,500	2.5
10	W05	木ねこ 1	NAG	1,500	2.5
11	W06	木ねこ 2	ORI	1,500	2.5
12	W07	木いぬ	NAG, ORI	1,800	3.0
13	W08	木うま	NAG, ORI	2,000	3.0
14	W09	木うさぎ	ORI	2,000	3.0
15	W10	木ふくろう	NAG	2,000	3.0
16	P01	プラ J 型	NAG, ORI	600	0.0
17	P02	プラ I 型	NAG, ORI	600	0.0
18	P03	プラ蛙	ORI	800	1.5
19	P04	プラねこ	ORI	900	2.0
20	P05	プラいぬ	NAG	900	2.0
21	P06	プラうさぎ	NAG	900	2.0
22	P07	プラ車	ORI	900	2.5
23	P08	プラ新幹線	NAG	900	2.5

シート名「基本価格表」

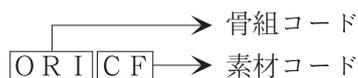
	A	B	C	D	E
1					
2	基本価格表				
3		骨組コード	NAG	ORI	
4		骨組	長傘	折畳	
5		素材\日数	3.0	5.0	
6	素材コード	CF	カーボン	11,500	12,500
7		GF	ガラス	7,000	8,500
8		AL	アルミ	4,500	5,500

シート名「曜日表」

	A
1	
2	曜日表
3	曜日
4	月曜
5	火曜
6	水曜
7	木曜
8	金曜
9	土曜
10	日曜

作成条件

1. シート名「計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、税抜価格、製作日数、納期を求めることができる。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または NG の場合、その次の入力項目以降の確認欄と、C16, C17, A20～G24に何も表示しない。
3. 顧客は、用途、骨組、骨組の素材、手元形状を指定する。
4. この店舗の営業日は月曜～金曜であり、注文の受け付け、傘の製作作業は月曜～金曜のみ行われ、製作作業は受注日の翌営業日から行われる。
5. 基本コードは次のように5文字で構成されている。なお、手元は形状ごとに対応する骨組が決まっている。



作成手順

1. シート名「計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) F 3 は、本日の日付を表示するための関数が設定されている。
 - (2) C 7 は、「用途コード」を入力する。また、F 7 は、C 7 をもとに、シート名「用途表」を参照して「用途」を表示する。
 - (3) C 9 は、「基本コード」を入力する。
 - (4) F 9 は、C 9 の「骨組コード」をもとに、シート名「基本価格表」を参照して「骨組」を表示し、F 10 は、C 9 の「素材コード」をもとに、同様に「素材」を表示する。
 - (5) C 12 は、「手元コード」を入力する。また、F 12 は、C 12 をもとに、シート名「手元表」を参照して「形状」を表示する。
 - (6) F 13 は、C 12 をもとに、シート名「手元表」を参照して求めた「対応」に、C 9 の「骨組コード」がある場合、OK を表示し、それ以外の場合、NG を表示する。
 - (7) C 16 は、次の①～③の「価格」を合計して求める。また、C 17 は、②の「素材コード」を除いて「日数」の合計を同様に求め、整数未満を切り上げる。
 - ① C 7 をもとに、シート名「用途表」を参照して求めた「価格」。
 - ② C 9 の「骨組コード」、「素材コード」をもとに、シート名「基本価格表」を参照して求めた価格。
 - ③ C 12 をもとに、シート名「手元表」を参照して求めた「価格」。
 - (8) A 20～G 20 は、A 20 に F 3 の曜日を曜日表を参照して表示し、G 20 まで曜日を順に表示する。
 - (9) A 21～G 21, A 23～G 23 は、A 21 に F 3 を表示し、他のセルは日付を順に表示する。
 - (10) A 22～G 22, A 24～G 24 は、A 21～G 21, A 23～G 23 の日付について、次の①～③を順に評価する。
 - ① F 3 と一致する場合、受注日 と表示する。
 - ② 曜日が土曜、または日曜の場合、休業日 と表示する。
 - ③ F 3 に、C 17 およびそれまでに経過した土曜、日曜の日数を足した日付と一致した場合、F 9 に完成 を文字列結合して表示し、それ以外の場合、何も表示しない。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしております。」

問1. シート名「計算書」のF9に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

```
=IF(OR(F7="", F7="NG", C9=""), "",
  IF( (a) (C9)<>5, "NG", IFERROR( (b) (LEFT(C9, 3), 基本価格表!D3:E4, 2, FALSE), "NG")))
```

ア. (a) MID (b) ABS イ. (a) LEN (b) HLOOKUP ウ. (a) FIXED (b) FORECAST

問2. シート名「計算書」のF13に設定する次の式の空欄をうめなさい。

```
=IF(OR(F12="", F12="NG"), "",
  IF(IFERROR( ( ) (LEFT(C9, 3), VLOOKUP(C12, 手元表!A4:C23, 3, FALSE), 1), 0)>=1, "OK", "NG")))
```

問3. シート名「計算書」のA20に設定する次の式の空欄をうめなさい。

```
=IF($F$13<>"OK", "", ( ) (曜日表!$A$4:$A$10, WEEKDAY($F$3+COLUMN()-1, 2), 1))
```

(注) WEEKDAY関数の第2引数が2の場合、戻り値として、1(月曜日)～7(日曜日)を返す。

問4. シート名「計算書」のA22に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をB22～G22, A24～G24にコピーする。

```
=IF(A21="", "", IF(A21=$F$3, "受注日", IF(WEEKDAY(A21, 2)>=6, "休業日",
  IF(A21=$F$3+$C$17+( ) *2+ROW()-22, $F$9&"完成", ""))))
```

ア. COUNTIF(\$A20:\$G20, "土曜")
イ. COUNTIF(\$A\$20:\$G\$20, "土曜")
ウ. COUNTIF(\$A\$20:A20, "土曜")

問5. シート名「計算書」が次のように表示されているとき、長傘完成 と表示されるセル番地として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. C24
イ. F24
ウ. G24

	A	B	C	D	E	F	G
1	計算書						
2							
3						受注日	2018/1/17
4							
5	1. 注文内容						
6				入力欄		確認欄	
7	用途コード	※		用途	雨晴兼用傘		
8							
9	基本コード	※		骨組	長傘		
10							
11							
12	手元コード	※		形状	木ねこ1		
13							
14							
15	2. 価格および日数						
16		税抜価格	※	円			
17		製作日数	※	日			
18							
19	3. 納期						
20	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	月曜	火曜
21	2018/1/17	※	※	2018/1/20	2018/1/21	※	※
22	受注日	※	※	休業日	休業日	※	※
23	※	※	※	2018/1/27	2018/1/28	※	※
24	※	※	※	休業日	休業日	※	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(平成30年 1月21日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度 (第58回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計	
----	--

【4】	問1	問2	問3	問4	問5

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
					(a)
					(b)

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
				(a)	
				(b)	

【7】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(平成30年 1月21日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度 (第58回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	イ	コ	カ	キ	サ

【2】	1	2	3	4	5
	ア	コ	キ	ウ	オ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	イ	ア	イ	0.992

各2点
15問

小計	30
----	----

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	
	イ	イ	ウ	ア	ア	エ

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	
	エ	ウ	イ	ア	(a)	UPDATE
					(b)	SET

各3点
10問

小計	30
----	----

【6】	問1	問2	問3	問4		問5
	MODE	ア	イ	(a)	RAND	ウ
				(b)	D4	

【7】	問1	問2	問3	問4	問5
	イ	SEARCH (別解 FIND)	INDEX	ウ	ア

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

※ 【4】問5の順序は問わない。

※ 記述問題の大文字、小文字は問わない。

各4点
10問

小計	40
----	----

試験場校名	受験番号

得点合計
100